

課題発見ゼミナール 山口クラス希望者：3名

文献調査をし文献にふれることで知識が体系化されていき、グループワークをすることでコミュニケーション能力が上達する。そして、論文やレポートの書き方を練習することを通して論理的思考に磨きがかかる。これらは答えのない問題により良い答えを提示できるジェネラリストを輩出するという面においても意義のあることだと考えたので山口先生の担当するクラスを第1希望に選びました。

私は、山口先生の「言語と文化」を選択しようと考えている。このゼミの中では、論文やレポートの書き方や共同作業での合意形成スキル、プレゼンテーション能力などを学ぶことができる。また、このゼミの根幹には、本をたくさん読むということがある。私自身、中学校の頃から本を読むことが好きであるので、このゼミは私に適していると感じる。また、私は将来、高校国語教師になろうと考えているので、日本語と文化に触れる機会が多いこのゼミは大変魅力的である。将来、生徒に教えることの幅が広がれば良いと思う。私がこの徳島大学に入学したのも日本語と日本の文化やアジアの文化に触れて知識の幅を増やすためでもあったので、このゼミの中でこのような文献も読んでみたい。それから、このゼミで日本文学についても教えてもらえたら嬉しい。先ほども述べたように、私は高校国語教師を目指しているので、このような文献に触れることができれば、将来につながると思う。また、これらの文献についてグループで意見交換できれば、自分が気付かなかったことに気付くことができるかもしれない。このようなことをしてくれれば、自分の力の向上ができると思うので、お願いしたい。

高校生の時、日本語の差別用語について調べました。そこでわかったことは、「お手元」や、雨の時などに使う「お足元が悪い中...」という言葉も差別用語になり得る、といったことでした。使う時分にもよりますが、本来相手のことを気遣う言葉であるはずの言葉が差別用語になり得るということは、当時の私にとって大きな衝撃でした。しかし、一概にそういった言葉を差別用語として禁じてしまうと、日本が今まで築いてきた人を敬うという文化の根幹を揺るがしてしまうのではないかという問題があります。そういったことを調べたのですが、高校生の時は時分の納得のいくところまで突き詰めら

れなかったので、今回の課題発見ゼミナールでできるなら是非やってみたいと思いました。一通り話を聞いて、この課題に一番近そうなところだなあと思ったのでこのクラスを希望します。